

第2回 区民文化センターについて考えるアイデアミーティングの記録

平成 29 年 9 月 10 日（日）午後 1 時～3 時 30 分 都筑区役所 1 階 多目的室（福祉保健センター内）

参加者数：29 名

◆プログラム

1. 区役所からの情報提供（別紙 1 参照）

- ・横浜市都筑区における区民文化センター基本構想のコンセプト（案）検討状況

※初参加の参加者も意識しての説明

- ・本日の進め方
- ・基本構想検討委員会からのアイデアの一例
- ・区民文化センターの標準的な機能構成関係模式

2. グループワーク

1) 3000 m²の限られたスペースの中で多様な活動を行うための

①区民文化センターの標準的な機能の活用方法としてどんな工夫が必要ですか？

②どんな施設上の工夫が必要ですか？

2) 区民の皆様の多様で多彩な活動に対応できる運営・管理体制とするためには、どんな工夫が必要ですか？

休憩

3. 発表

4. 本日のまとめ

◆資料（別紙 2 ※第 1 回アイデアミーティングの記録は前回委員会で配付したため省略）

1. 配付資料

- ・横浜市都筑区における区民文化センター基本構想のコンセプト（案）
- ・第 1 回 区民文化センターについて考えるアイデアミーティングの記録
- ・都筑区 区民文化センターニュース 第 2 号

2. 各机上資料

- ・区民文化センターの標準的な機能
- ・区民文化センターの標準的な機能（写真）
- ・標準的な区民文化センター機能構成 関係模式

◆グループ発表

グループ①

みなきたウォークが近いから連動しようというのと、縦の線で歴史博物館のようにいろいろな歴史があるから、それも含めて連動しようよ、あるいはまちに開けたカフェもあっていいという意見が出されました。われわれも同感です。素晴らしいメンバーがそろいましたので、いろいろな意見が出ましたが、ある程度まとまったかなと思います。まず、課題としてあったのは、いろいろな機能についての工夫で、順番でホール、音楽ルームについて考えたのは、ホール 300 人程度について、ふと年間 50 日ぐらい土日があるわけですから、52 回ぐらいホールでイベントがあったとして、その前に音楽ルームでリハしたり練習したりする。1 回発表するには、練習を 4 回くらいする。では、練習室は 4 倍くらいいるのかなと話しました。あるいは、違う意見で、ホールで発表しなくても、練習室で普段の活動、例えば子どもたちの練習やダンスなどに、練習室は違う使い方もある。管理としてどの様な使い方をするのだ、というところから話を進めていきました。ホールについて、できれば固定席がいいと、いやそうではなくて港の見える公園のイギリス館などでは、椅子がないのです。150 席くらい素晴らしいパイプ椅子を置くのです。だったら公会堂は固定席で 600 席、こちらは 300 席利用者が自由に椅子を置くスペースであってもいいと、ただしスロープだったらいいと。ホールについては基本的に 高度な音響や照明は必要ですけれど、自由に使えるホールがあってもいいのかなと。次の音楽ルーム、リハーサル室ですけれども、小ホールとしても使えるスペースであってもいい。ホールとの違いは、床がフラットであればいい。あとはわれわれ色々な団体や、教室を運営している音楽関係の団体等も、50~60 人のお客様で発表会をしたいというニーズが結構ある。であれば音楽ルーム、リハーサル室は、あるときは小ホールとしても使えるような機能を持つて欲しい。については ホールとほぼイコールの照明、音響の機能が必要となってきます。次に練習室について言うと、25 m²とかありましたが、使い勝手をイメージして下に会議室がある練習室、会議室は色々な文化人なり地域の人が、都筑の歴史を語ったり、早淵川の歴史を語ったりするわけですが、この会議は練習室でやってもいいのでは、ここで区分けをするのではなくて、練習と会議ができる部屋が 4~5 あればいいという風に思いました。唯一の違いは防音なので、練習・会議室の一つか二つは防音で、それは小さくてもいい、バンドが練習できればいい。30~40 m²あればいい。それ以外の練習・会議室は、できれば 60 m²ぐらいで、色々な会議をしたり、練習もできる多目的スペースの方が使いやすいのではないかな。実際、夢スタジオをわれわれが運営して、非常に稼働率がいいのです。あの大きさだからです。ここで、25~28 m²等で切ってしまうと少し使いづらい。できれば 60 m²ぐらいの練習・会議室があればいいと思います。エントランスについて、この表で抜けているのですけれど、ギャラリーの話になったときに、すぐにエントランスに振りましました。要は みなきたウォークに面してエントランスを設けた場合に、受けとして、そこそが一番ギャラリーにな



る。ギャラリーというスペースを設けるのではなく、エントランスをギャラリー化する。これが一番のこのスペースの工夫かなと思います。ここではカフェが敷地内にあってもいいし、高架下にあってもいい。以前から高架下にオープンなカフェテラスがある、というのはわれわれのイメージなのですが、南商業振興会さんとアイデアをためておったのですが、そこと連動しながらエントランスで迎えるという。そういう意味ではエントランスはほぼ、みなきたウォーク側に向いて欲しいというのがわれわれの希望です。エントランスをギャラリー化するということは、写真展があったり、絵の展示会など、一つの工夫として、照明が自由に天井からもってこれるような機能的な工夫だけしてもらえれば、ギャラリーとしてエントランスを使えると思っています。あと、事務室という運営上のテーマがあったので、唯一事務室については、いかに市民、区民が入るかということ。事務室ですから指定管理者を置いたら入ってはいけないはずなのだけれども、例えば、指定管理者を応募する契約書に、今流行の社外取締役、ではないが、市民、区民の「社外取締役」を。例えば公募に応募する際には、都筑区民を4人でも5人でもそういう規程を設けて、必ず市民を外部相談役とか外部アドバイザーとして設けることを、契約書に盛り込んでおけば、指定管理者はそれで応募する。今、都市みらいが公会堂を運営していますけれども、そこのあるスペースには、社外取締役である市民が出入りできるような状況を、はなから入れておくことで運営に工夫ができるのではないかなと思ったりしました。要は開かれた文化ホールと、あくまで日々、区民、市民で埋まっているような文化施設と考えた場合、このような切り口もあるのかなと思いました。繰り返すと、ホールがあって、音楽ルーム兼リハーサルルーム兼小ホールがあって、練習・会議室の3つのゾーンだけがある。そこは会議もあればいろいろな練習もできる一部防音のあくまでもフローリングの。広い土地への展開について、最後にはお願いですが、1.2haあって、3000㎡のプランがあるのですが、残りのスペースにも、文化的な意味あいを理解する企業、あるいは理解するような展開を考えて欲しいということに応募要項の中に入れてもらったらありがたいと思いました。あくまで要望です。

文化といえば図書館。歴史も川も図書もバロメーターなので、すぐそばに歴史博物館も早淵川もあり、そのような文化との連携もあって欲しいという意見が出ました。

歴史博物館の奥に資料館があります。ほとんど誰も行きません。われわれが思っているエントランス・ギャラリーの一番の先頭は、都筑の歴史を語るために、歴史博物館に管理をお願いするのです。このスペースは、歴史博物館から毎週資料を、週代わりで52回置き換える。エントランスに週代わりで都筑の歴史が展開される。それを5年位すれば、歴史博物館も活性化するのではないかな。区民にとって

は、こんな資料があったのだということを目の当たりにするのだから、文化施設の入り口として非常にいいのではないかと、事業としても連携するということを考えました。



その他ふせんに書かれた意見

- ・ 絵画と音楽のコラボ 使うスペースを併用
- ・ コラボがしやすい設備
- ・ ホールの集客やギャラリーなどの集客がゆるやかにつながるように全館がつながる
- ・ 着脱可能な反響板など多機能に
- ・ 会議室というネーミングではなくていいのではないかな？
- ・ 練習室を使い、いつかホールで演奏したいという夢
- ・ 夜も使える練習スペース（本番ではなく）
- ・ 情報コーナーの充実を図る 市民の求めている資料を置く
- ・ 企画図書スペース
- ・ 文化コモンズ 地域の声 オープン 定期的なミーティング

グループ②



トップバッターのグループ①にほとんど包括的に言われてしまいました、すごくかぶっています。最初に議論となったのは、文化の話だったのですが、実は防災もすごく大切な視点ではないかと。やはり文化センターができたとしても、それが防災拠点にもなるぐらいの強固な文化施設を造ってもらう。すると、そこはまさに拠点になる。防災も文化ということで、例えば災害時にはそこに避難ができる、あるいは炊き出しもできるような給食センター

もあるというような話も出ました。防災拠点になると地元の人にとっては誰もが非常に馴染みになる。という、今まで議論したこととは違った視点で議論させていただきました。施設の中身の話では、やはり人が呼べる施設でありたいということで、エントランス、ギャラリーは一般の人がふらっと入ってくるようにということです。具体的には、エントランスでギャラリーという、これまではその場を多目的に使うことはなかったのですが、メンバーの中に照明、音響の専門家がいて、そういう施設は最初に造りこむのではなくて、持ち込むことによっていろいろな演出ができる、ということからすると、天井に吊り物ができるバトンがあり、電源が確保されていれば、いくらでも演出ができる。これは簡単でお金がかからない割にはすごく使いやすいアイデアだと思います。あとエントランスはみなきたウォークから、普段から人がアプローチできるその向きが一番望ましい。今駐車場があつたり、色々なものがありますけれど、あれを取り払い、もしくは立体的に使う。ホールは2階につくって、1階にカフェとエントランスとギャラリーをつくる。今の立地のところからすると、大勢の人があそこに入って、一斉に出てくると結構混雑する。そのためにみなきたウォークの南にも北にも両方に分散させるような仕

掛けを建物と一緒に考えてもらうといいのではないかと。次に、文化センターを拠点にしたいということが望みなのですが、例えば拠点を運営するひと、指定管理者もそうですし、われわれ市民側も、こうして集まっている皆さんも横のつながりができて、そういう団体が、市民の活動の中から湧いてくるような形で、ひとづくりができるということがいいのではないかと。指定管理者の中でも、多目的に使おうとした時に、受付に相談に乗れる集団が欲しいのです。プロ的な人であっても、全くの素人であっても、こんな風に演出したい、どうだろうかということを経営に乗れるような、そういう指定管理者になるのか、われわれ市民団体の中にそういう団体が立ち上がるのか、色々形はあると思いますが、そういう相談ができる集団がいることが、豊かな文化が育っていくのではないかと思います。

ひとつおまけで、清掃が今、結構大変なので、いろいろなホールを使っていますが座席まで掃かされる清掃は都筑しかないの、コロコロでラメまで取られるホールは今都筑しかないの、清掃が楽になるような業者をお願いします。それですごく解散までの撤収に時間がとられるのです。そこが楽になるような指定管理者さんをお願いいたします。

最後に、ギャラリーもエントランスのところにといいことで話題になったのは、座・高円寺です。あそこは細かい部屋はつくらずに、大きな部屋をその目的に合わせて区切りながら使う、そのようなかたちで、あまり部屋を小分けに作らないほうが返って使いやすいのではないかと。これも座・高円寺で感じたのですが、普通エントランスのところ立派な事務所と受付があるのですが、座・高円寺の場合は受付はできているのですが、事務所は立体的に、高さのある空間の中2階にあります。そのように空間をうまく使えば、平面図だけではなくて、立体的に使うことで倉庫や事務所も納めて、その分を市民活動スペースに少しでも割いてもらうような工夫が欲しいと話しました。あとギャラリーにはぜひ、今都筑はダンスに熱心なグループが多いので、ダンスの図書だけではなくて、物品等も含めて置いて、都筑に行ったらダンスの物がみんな揃っているというような、何か特色を持ったギャラリーやアンテナショップのようなものを置いておくと、それも特色になるのかなと思いました。

最初に盛り上がった防災では、給食センターが残った部分にプラスアルファで入らないかと。横浜市は今給食がないのですが、文化センターには入らないけれど、余った部分にできると、横浜市のお母さんも助かる。何か災害があったときに炊き出しもできる、炊き出しができる施設というのは初めてのことでなるほどと思いました。アンテナショップについても、ダンス関係、体操関係の図書とか練習着とかで知られているダンス専門店がセンター北にあり、それができたことによって私たち舞台関係はとても助かっています。せっかくこういうものがあるのだから、専門的に演劇とかダンスとか、そういう文化ものがここに来れば見れるように。大学時代演劇の論文を書く時に、その専門書が近くの図書館になくて、神奈川県民図書館までわざわざ行くのですけれど、貸し出されていないなど苦労しました。この都筑に行けば専門書がある、見ることができる、専門のものが買えとなれば、劇団四季もありますし、ダンス人口も多いので、ダンス関係の人は都筑に集まってくるのではないかといい、そんなところになればいいと思いました。



その他ふせんに書かれた意見

- ・ホールは安全に避難できる場所に
- ・ホールの座席 立体化
- ・みなきたウォークへの動線処理に横断歩道の高架化
- ・ギャラリーに専門書を置く
- ・ミーティングルームは多目的の大きな部屋

グループ③

私たちのところは舞台関係の者ばかりでしたので、どうしてもホールですとか音楽ルームですとかそちらの方の話が中心だったのですけれども、ホールに関しては、イメージ的には段々(傾斜)があるので、



どうしても2層になる。2階建てになったホールのホワイエからエントランスが見下ろせるような、エントランスが吹き抜けで開放的になっていて、エントランスはみなさんが入れるようなスペースで、そこには図書コーナーですとか、本を読みながら珈琲が飲めるような空間にしてはどうか。ガラス張りでホワイエがあれば、エントランスから見上げれば、コンサートをやっていると、何か催し物をやっているのだと分かるような、そんなイメージをしました。その

エントランスに情報コーナーというのを置いて、地元の情報に詳しい人をボランティアでいていただき、そこで来た方に都筑のことを、まちのことをいろいろ説明していただけるといいなと話しました。ホールに関しては、公会堂のイメージとは違って、反響板を下ろさずに建物の壁自体が反響板になっている常設のものがいいなと考えています。舞台の方、ダンスの方も使えるようにロスコが使える、たくさん機材が使えるようにして、照明も置いてほしいです。ホールには本格的なコンサートができるように、コンサート用のグランドピアノが選べるように。ヤマハとスタンウェイの2種類選べるところが結構あるのです。プロの方も来ていただけるようなコンサートホールにしたいと思っています。ホールのホワイエは明るく日差しが射し込めるようなイメージで、いいホールでホワイエを明るくしていただけると、みんな都筑のホールはいいホールだなと思ってもらえるかなと。ギャラリーの方は、ギャラリーだけではなく、可動式の扉が開くとピアノが出てきて、ギャラリーでもちょっとしたコンサートがやっているといいなと考えました。「ここ、舞台になるじゃない」という、いろいろなところで舞台ができるような、ギャラリースペースにして欲しい。よくヨーロッパでは、展示などをする時に、バック

ミュージックライブをする、それが普通のことなのです。そういったことができるようなギャラリーであるといいなと思いました。音楽ルームに関しては、ホールが300席であるならば、リハーサル室でもちょっとしたコンサートができるように、100席レベルの音楽ルームがあり、そこはフラットで、椅子を置けばコンサートができ、そのくらいのスペースがありますと、ダンスなどのリハーサルをする時に、ホールの舞台と同じ大きさでリハーサルができる。もし舞台がほしければ、可動式の舞台を置けば舞台が作れる。そうすると舞台を大きくすれば席は少なくなり、小さくすれば席は多くなる。そのようにいろいろなものに使えるような音楽ルームであるといいなと考えました。事務室に関しては、エントランスと同じ階ですぐ横で、オープンなスペースにして、誰でも入れるような事務室にして欲しい。活動センター的な機能があればいい。活動センターよりも



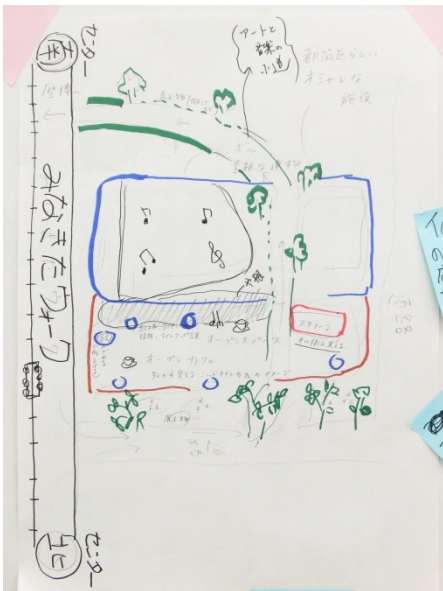
っと専門的な機能をおいて、PCが使える、ちょっとしたプレゼンができる機能などがあるイメージです。そこには密室感はなく、誰でも入れるようなオープンな事務室にしてほしいです。練習室は音楽ルームと兼ねて、大小で、ピアノがある部屋、ドラムがある部屋という風にあればいい。次に指定管理者については、皆さんのご意見と同じで、専門的知識があってアドバイスがもらえるような管理者がいいなど、味方になってくれるような指定管理者、決して敵ではないという。今までのイメージでは「敵」という感じが多かったので、ぜひ私たちの味方になってくれるような、上から目線ではない指定管理者がいいです。区民優先的な配慮をしてくれる運営をしていただきたい。自主事業など一緒に企画とか、一緒にやりましょうというような密接な関係を持てる管理者がいいです。私たちもできる限り運営に協力したいと思えるような、運営に関するオープンな情報提供をしていただきたいと思います。

その他ふせんに書かれた意見

- ・図書コーナーは、子どもや学生がゆっくりくつろげる
- ・ピアノを音楽ルームからギャラリーに移すための床などの工夫
- ・多目的で可動式のもの傷みが速い

グループ④

日ごろは都筑区のアマチュアオーケストラで代表をやっております。私たちのグループは、星空のコンサートの実行委員なので、大きなオープンスペースとカフェということで考えました。星空のコンサートがこの大きなオープンスペースで、満天の下で、できてしまえばということです。絵を描いてしまったのですが、向きに関してはみなきたウォークへ向いて、このように作り、入り口にアートと音楽の小道があり、歴史博物館に通じるという。この向きについては他のグループでもいろいろ出ていましたが、傾斜もありますし、私たちが考えたのは歩いてくる人を優先する入り口の方がいいだろうと、人と車は分けた方がいいだろうということは考えました。例えばこういう向きだとして、ここに大きなオープンスペースがあって、こちら側に建物がある。その何階になるのかよく分からないのですが、とりあえず1階にあるといいなということで、ここにはカフェとかギャラリーとかエントランスが並んでいて、そこがオープンスペースにつながられる、開放できるようなものがあるって、前回どこかのグループが言っていたようにスクリーンがあって中の様子がわかるものがあったり、オープンスペースに出るところには、透明な屋根なんかもあるって、万が一雨でも少しはしのげる。普段はカフェとして外側で飲食ができてたりということも考えられる。いろいろな設備関係も、私たちは詳しくないのですが、オープ



ンスペースでも色々なイベントが可能に、星空のコンサートが可能に、照明が得られるとか、電源がちゃんととれるとか、そういう物が整っているということです。まわりは緑で囲んであるのですが、中は見えるようにしておく、アートと音楽の小道には彫刻とかが並べられる。建物の色々なところにそういう美術作品が飾れるようなところがあるのいいのではないかとこの絵を作ってみました。続きましてホール関係なのですが、前提的に本格的な文化芸術ということになると、やはり1000人規模でないといけないのではないということは踏まえたうえで、300人という風になると、ステージはなるべく大きいものであったり、音響設備なども本格的なものがほしいという意見がありました。その一方で、ステージも大きくしたり小さくしたりできる、客席も取り外し可能ということにも考え付くと、音響的に

はだんだん落ちていくのですけれど、そのせめぎあいかなという。もうひとつはリハーサル室にもう一つ小さなホールをつくるとすると、そこで機能面で一つを音楽的なものにして、もう一つを演劇的な用途に使えるようなという切り分けもある。両方もすごい音響でという考え方もありました。あと、トイレは女性のほうは男性の2倍以上にする。お客さん側も出演者側もトイレは女性を大きくするというです。それからホールの照明や音響の専門家が必要になります。練習室には必ずピアノ、アップライトでも可能ですが、置いてある



方がいいということが出ていました。管理運営の方ですが、その指定管理者が、アートマネジメントができるような、なるべくすべての芸術について公平に扱っていただけるような、そういう人を選ぶというのは大変なことだと思うのですが、なるべくプロフェッショナルなサポートができるような人がやればと考えました。当然イベントをやるのが区民ということで、つながりを作るということも大切なのですが、区民の運営をする人たちも、色々なグループの運営もありつつさらに色々なイベントの運営もやらなければならないということで、広報だとか資金集めなどを相談できるようなことがあればいいという風に考えました。



あと、とても具体的な話で恐縮なのですが、カフェが必要なと考えた時に、都筑区ならではの特徴のある食べ物、都筑区の有名な食べ物って小松菜らしいのですが、小松菜キッシュなどどうかと、そういう特徴のある物を出せる喫茶店、あそこに行けば都筑区ならではのものが食べられる、そのようなものがあればいいなと思いました。私たちの中で一番思っていたのは、このおしゃれな小道がつながっていると、そこを散歩したり歩いたりする時に、ここに芸術の森が、ブルームスの小道ではないですが、そんな風に歩けると全体的にきれいになるのではと思っています。

最後に一つだけ、意見交換のときに一体的な開発ということ的前提なのですが、ぜひこの区民文化センターの建物を、いわゆる民間の建物とちょっと区別する、独立させるというか、屋根とかそういったもので、ここに文化施設があるところを外からも分かりやすい、そういうことで象徴的なイメージが伝わるといいなと思います。これは業者の提案のときの前提条件としてです。建物の中に入れてしまうと、外観から見ると非常に分かりづらい。入ってみれば分かりますが、その面ではそれが一つの、大きな言い方をすればランドマークのような意味あいになるのかもしれませんが、まずそういう象徴的なイメージが伝わるような設計をぜひお願いしたいという感じで意見交換をしました。

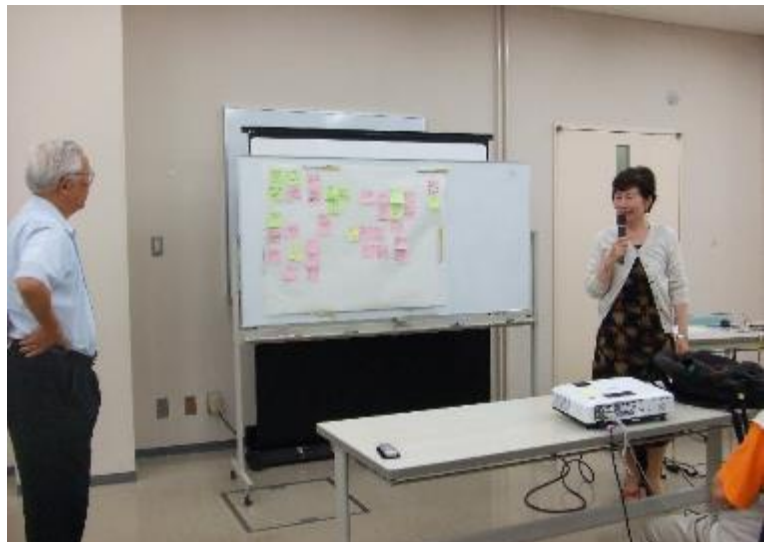
私たちの中では、前提があつたのですけれど、その中でもできる限りオープンスペースの部分をうまく活用しながら、この施設を見たときに、入ってくるところも今どこか分からないのですけれども、都筑区らしいおしゃれな雰囲気をかもし出せればいいなというのがありまして、全体的におしゃれな雰囲気で出来上がって、都筑区らしさというのも出したいし、一般的に見ても素敵だと思えるような施設にできればいいなと思いました。管理運営に関しても、実際に地元の方であったり、ここにおられる方も専門的な知識がおありだと思うので、一緒にできれば素晴らしいと思うのですけれど、その一方では皆さんそれぞれの団体を抱えていて、大変な部分もあるので手が回らない。なので、常駐する専門的な人がいたほうがいいのかという話と、皆さんと一緒になって活動できる開けた事務所のスペースがあればいいなという話になりました。

その他ふせんに書かれた意見

- ・都筑区の文化施設をつなぐ意識のある指定管理者
- ・情報コーナーは区民文化センターのような自由度
- ・公会堂との連携機能
- ・都筑チャンネルで案内
- ・カフェの中に小さな演奏スペース
- ・外からカフェが見えてふらっと立ち寄れる
- ・区民手づくりグッズの売店

グループ⑤

私たちは9人だったのですが、その中で6人が区民文化祭の展示の実行委員ということもあって、話し合いの内容が、やはりギャラリーの方に特化しがちということもありましたので、そこを前提にお話させていただきます。今、都筑区民文化祭を1月下旬から2月の初旬にかけて、通路のようなホールでやっているのですが、そこではやはり照明の問題とか、ファンデーションとか全部人力でやっています。あとは寒さとかそういったことでいろいろと今回のセンターづくりには期待をしております、期待をこめてギャラリーでどんな設えが必要かをまず相談いたしました。160㎡で100点以上展示をクリアした上で、可動パネルも電動であってほしいと思っています。設え的には机、椅子など25から30は最低でも必要だと思います。また、壁に作品を飾るためのピクチャーレール等。そして高い天井、今は大きさの限られた物しか飾れないのですが、もう少し大きな物も展示したいという声が寄せられていますので、それを天井から飾れたらいいなと思います。暗いと1年かけて作った発表される方が残念ですので、可動式の照明とかスポットライトが当てられる設えが欲しいと思っております。ギャラリーは一般的には平面が多いのですが、ちょっと工夫を凝らしてスロープをつくったりとか、螺旋階段をつくったりとかして、立体的に展示ができるような設えをすると、点数も多くなり、観に来た方も楽しんでいただけるのかなと思っています。また、ギャラリー機能には、ちょっと腰をかけられるような機能があればいいと思いました。今の話はギャラリーに特化した話ですが、あとは全体の文化祭などでも必要だといつも思っている、キッズルームのような託児機能があると、お子さん連れの方などは、ちょっと子どもを預けて舞台を見たり、展示の鑑賞をしたりとかができると思っています。また、160㎡はさほど広くないのでそこで荷物を持ったりしますと展示物に触れて破損してしまったりとか可能性もあるので、荷物を預けたり荷物を置けるようなロッカーとかクローク的な機能があるといいと思っております。エントランス機能は、常に人が行きかえるような場所ということで、ここはコピー機を置いたり、バリアフリーにして、いつでも誰かが来て休憩できると、子どももそこで遊び、おしゃべりしたり、色々なグループがいろいろな目的に使えるかなと思っています。繰り返しになりますが、ギャラリー機能は160㎡以上欲しいのですが、そこもエントランスと一体化ではないのですが、できれば分割できるよう



な機能にしておいて、例えば展示が 100 点以下の場合、1/3 ぐらいを区切って、他を別のグループに使ってもらう、もしくはワークショップに使えるというような、多様に使える設えがあってもいいと思いました。そして、全体を通してなのですが、センターを考えたときに、色々な目的で自由に区民が活動できるそういった場にしたい、誰もがここに来れば、ふらっと来てもお話をしたりとか、知らない方でもお声をかけ合って、仲間づくりができるそんな場にしたいなというのがありまして、文化の押し付けではなく、区民誰でもが利用し、文化活動が自由にできる会議室、集会室はそういう位置づけがいいという意見がありました。最後に運営管理体制になりますが、なるべく市直営の、または区の管理をお願いしたいなというご意見も出されました。やはり市民とか区民の声を存分に吸い上げていただくような運営をしていただけるのは民間だと不安という声が出されました。

ギャラリーの方が半分以上占めていましたので、報告もそちらに重点がおかれましたが、私はもう少し大きな問題をどこかで議論していただきたいということです。ひとつは 3000 m²の問題ですけど、厳格に守れとはおっしゃっていない。私は 2 回の委員会もアイデアミーティングも出ています。3000 m²はもう少し緩和できないのかという検討委員からの意見が結構出ていたのです。これは、われわれだけではとてもできることではないと思いますので、区の職員含めて事業者との交渉になるのではないかと



と思いますけれど、検討委員会の重要な課題であるという風に思っておりますので、ぜひそこは 3000 m²の壁を取っ払っていただきたい。1 割り増しぐらいがせいぜいかも分かりません。それは交渉次第ということにおそくなるのだろうと思いますのでぜひよろしくお願います。それから私は今都筑区の図書館問題を考える会の代表をしています。5 年くらいになるのですが、今ある図書館についてはコメントしませんが、少なくとも今の都筑区の図書館では体をなしていない。少なくとも今度の大ホール

に反対するということではありません。それを前提に話をしたいのですが、検討委員会でも意見が出たのですよ。報告は全くなかったですが、図書館がどうしても無理だというならば、少なくとも図書室くらいは作れないでしょうかという意見が出ました。エントランスの方に新聞とか雑誌を置いて見られるようにするという意見も出ていました。私は全体がどうなるかによりますけれど、つくろうと思えばつくれるのではと思っています。ぜひ 3000 m²の枠を少し超えて、40~50 人は学習し、情報を仕入れられるようなそういう部屋をつくらせていただきたいということです。アイデアとしては、今もう情報化時代ですから、PC が自由に使える、Wi-Fi 機能がきくようなものにしていただきたいというのが提案です。それから 3000 m²の問題に関わりますけど、それではあの 12000 m²のうち 3000 m²の残りは一体どういう形で利用されようとしているのか全く見えてきません。これは業者との話になるのか、区側で案を出すのか分かりませんが、重要だと思うのです。その辺は区側と、どこになるのか分かりませんが間に入る業者と十分議論して、これも検討委員会の課題ではないかという風に思うのですが、検討委員会はそこまで踏み込めないというところがあるのかもしれませんが、残りのところをどうするのですかということです。ぜひ区民にもよく分かるように利用の仕方を考えていって頂きたいと思

います。業者にどういう人が入るのかによって違ってくると思いますがぜひオープンな情報を流していただきたいと思います。

その他ふせんに書かれた意見

- ・展示備品などの収納スペース
- ・収納スペースはギャラリーを借りている期間中使える
- ・子どもから高齢者まで利用できるプログラムづくり
- ・子どもだけでも利用できる場所づくり
- ・駐車台数を多く、特に障害者用を多く確保する。駐車料金は無料に
- ・子ども、青少年、勤労世代、退職者などが自由に使える場
- ・社会教育、生涯学習の拠点として、学習室、会議室、集会室の充実を

◆まとめ

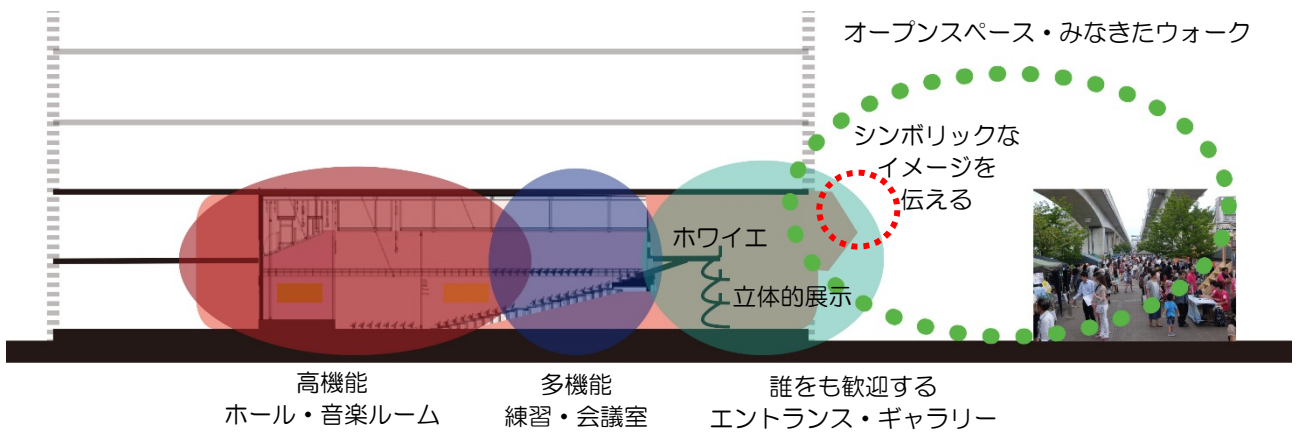
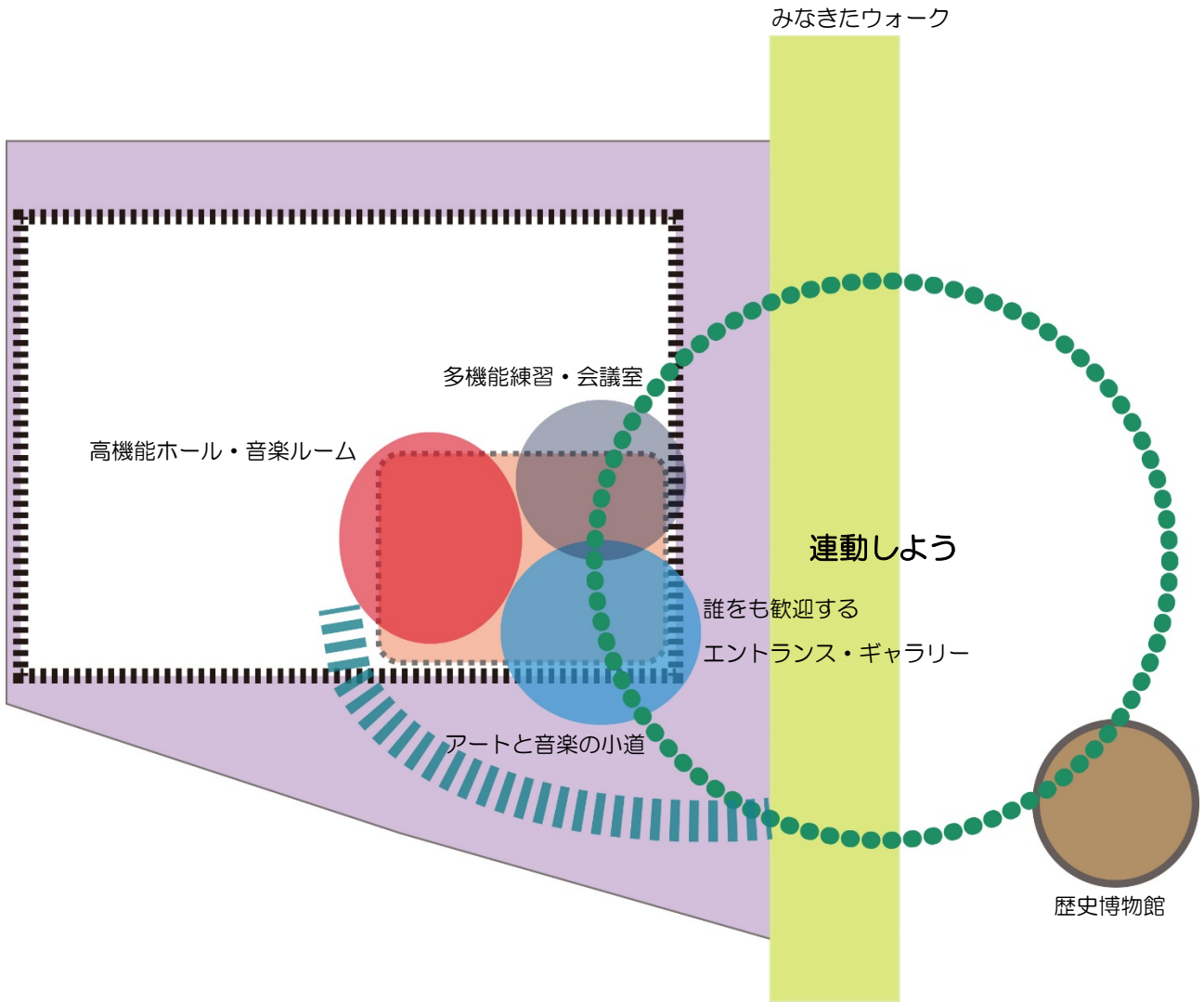


どうもありがとうございました。熱心な意見交換をしていただきました。かなり色々なご意見が出ました。施設空間をもう少し有効に使うことによって、活動に必要な機能をもっと拡充できるのではないかと、具体的なご提案もかなりされましたので、そこは大きな検討材料かなと思いました。特にメインの、だいたい 300 席程度といわれているホールについては、かなり高機能で専門性の高い専用ホールの機能を持ちながら、場合によるとイベントでも使えるようなというご意見も中にはありました。むしろ音楽

ルーム、リハーサル室については、イベントホールのなかたちで多目的に使えるようなというご意見が全般的に多かったと思います。日常利用は、やはり圧倒的に文化活動の盛んな都筑区ならでは、そのニーズに応えるために練習室だけでそのニーズに応えるというのは難しいだろうということで、完全防音の整った練習室というのは最低限の量は必要だが、会議室も練習利用ができるような、場合によっては踏み込んでギャラリーとかエントランスでも一部で色々なダンスをしたり、防音設備がいらぬものについてはそういうところでも練習ができるようなというご提案もありました。情報コーナー、図書の機能についても文化振興という話に関わると同時に、誰もがふらっと来れるような図書コーナー風の機能も持っているのではないかとご提案も含めて多様なご意見を頂いたと思います。事務室についても、基本は指定管理で民間企業がメインになりますけれど、情報提供のオープン化を含めて、もう少し区民が事業に参加をできる、あるいは企画面でも充分区民の皆さんの力が発揮できるような機能であるとか、場合によると、「居る場所」がどこかにできないかなと感じましたけれど、そのように少し踏み込んだ提案もあったところです。エントランスについては、かなり多くのところが、みなきた側で、歩

行者の道がメインのエントランスというかたちで、アートと音楽の小道のような提案もありましたけれど、歩行者が、ここが区民文化センターだと思えるような、あるいはアートの色彩も持ったシンボリックなエントランスができるというお話も具体的にありました。特に管理運営上の問題で言うと、事務室の機能だとか、あるいはエントランスだとか、情報コーナー、会議室とかギャラリーまでを、かなり区民運営的なかたちが可能な限りできるようなにできないのかということが大きな提案の一つであったと思います。これを空間の中で今後どう落とし込んでいくのかということが大きなテーマかなという風に思いました。以上色々なアイデア、ご意見がございましたので、これについても第1回のアイデアミーティングと同じように、きちんと取りまとめた上で、委員会の方に諮って、活発なご議論をしていただこうと思っております。以上、だいぶ超過して申し訳ありませんでしたがこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

◆空間イメージのまとめ



◆施設運営のポイント

①指定管理者

- ・専門的知識があつてアドバイスがもらえる、受付で相談に乗れる管理者
- ・区民で運営をする人たちの広報、資金集めなど、プロフェッショナルなサポートができる
- ・文化的な意味あいを理解し、アートマネジメントができる
- ・運営に関するオープンな情報提供

②区民の参加

- ・区民が事業に参加をできる、あるいは企画面でも充分区民の皆さんの力が発揮できるような機能
- ・区民運営的なかたちが可能な限りできる
- ・必ず市民を外部相談役とか外部アドバイザーとして設ける
- ・誰でも入れるようなオープンな事務室
- ・活動センター的な機能

③事業連携

- ・エントランス・ギャラリーの一番の先頭は、都筑の歴史を語るために、歴史博物館に管理をお願いする

◆諸室規模についての提案

諸室	室数	規模
音楽ルーム(リハーサル室)		50～60席＋ステージ、100席
練習室&会議室	4～5	30～40㎡&60㎡
ギャラリー		160㎡
(図書室)		40～50人

当日の資料を一部修正（著作権を伴う写真等を削除）しています。

13時スタート。

区民文化センター について考える アイデアミーティング

9月10日(日)13時～15時
都筑区役所 1階
福祉保健センター内多目的室

本日のプログラム

《13時スタート》

- 1 区役所からの情報提供
都筑区における区民文化センター基本構想の
コンセプト（案）検討状況
- 2 グループワーク
- 3 発表
- 4 本日のまとめ
※15時くらいの終了を予定しています。

1 区役所からの情報提供

2 グループワーク

検討を進めている場所

この土地(1.2ha)の
一部
(延床3,000㎡程度)

- 29年度 ①区民文化センターの基本構想検討
②土地全体の公募要項作成
- 30年度 ①土地全体の事業者公募
②事業者選定
- 30年度～ 設計、工事、竣工

グループワーク

- * 区民文化センターの施設規模は、**おおよそ3,000㎡**です。
- * 区民文化センターには、**標準的な機能**が決まっています。

* 区民の皆様の多様で、多彩な活動を行うためには、**柔軟性のある施設の活用と運営**をしていく必要があります。

グループワーク

1 3,000㎡の限られたスペースの中で多様な活動を行うための

- ① 区民文化センターの標準的な機能の活用方法としてどんな工夫が必要ですか？
- ② どんな施設上の工夫が必要ですか？

2 区民の皆様の多様で多彩な活動に対応できる運営・管理体制とするためには、どんな工夫が必要ですか？

限られたスペースの中で、多彩な活動を展開するためにどんな工夫が必要か？

〔基本構想検討委員会でいただいたアイデアの一例〕

※写真は全てイメージです。

例1: エントランスの活用

床をフローリングにしておく、親子室や造形活動にも

照明や壁の様を工夫しておけば、展示空間にも

新聞や雑誌などがあると、ふらっと来た方の居場所やミーティングルームにも

例2: ギャラリーの活用

床はじゅうたんからフローリングへ

シンクを用意しておく...

絵の具遊びやワークショップにも活用できます

例3: その他のアイデア

★通常、ホール内にあるパントリーコーナーをエントランスに出してみたら、ふらっと来た方も利用できるのでは？

**例4:多彩な活動に対応できる運営・管理体制
のために必要な事務室機能の充実**

★地元の皆様と指定管理者とが
つながれる、連携できる仕組みを
建物の中に組み込むことが必要

⇒そのために、「事務室」には、どんな「ひと」が、
どんな活用をするでしょうか？
そのような活用をイメージしたら、どこにあるのがい
いでしょうか？

皆様のアイデアを
お願いします。

3 発表

1グループ3分+質疑応答

4 本日のまとめ

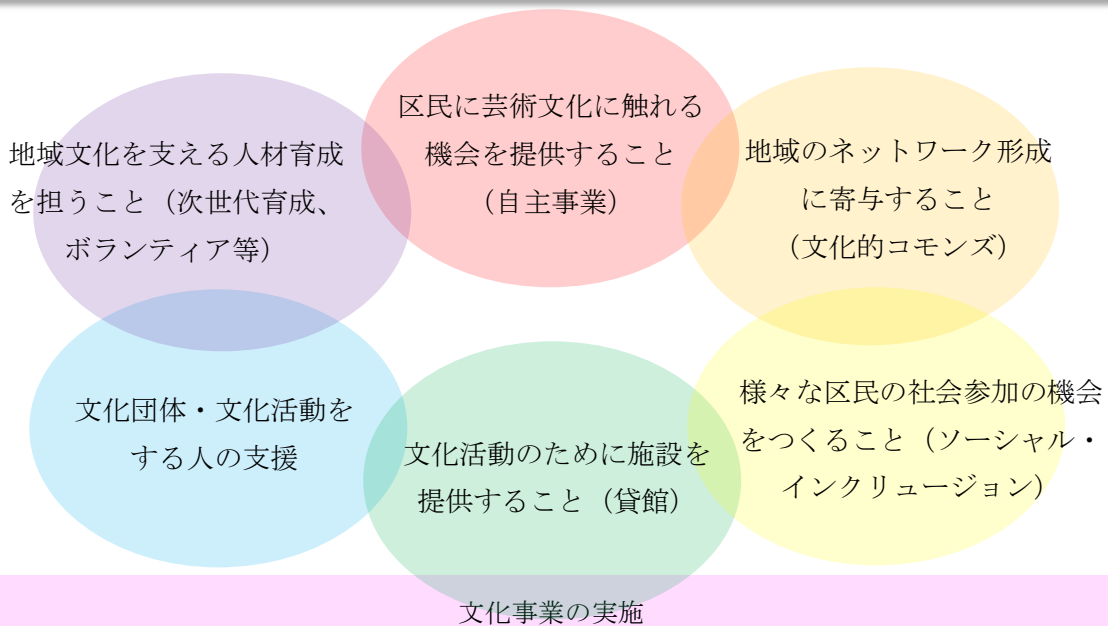
1 都筑区の区民文化センターのミッション(目指すこと)

都筑に根差した個性ある文化の創造

- ① 文化に触れる機会を、一人でも多くの区民に提供します
- ② 都筑の新たな魅力をつくります
- ③ 地域独自の文化や活動、新しい価値や表現を生み出すきっかけをつくります
- ④ 心の充実が得られるまちになるよう、区民と一緒に取り組みます

2 ミッションの実現に向けて重要な方針

多様性に対応できる、柔軟性を大切にした施設



施設利用／情報発信／鑑賞事業／普及事業／次世代育成事業／支援機能／連携機能／人材育成／調査研究

【基本構想検討委員会で出された主な意見】

- ・ 区民中心に文化を生み出す喜び、創り上げていく喜び、つなげていく喜びを大切に
- ・ 誰もが自分の活動に最適な空間がほしい。自由度のより高い施設 (ハード・ソフト) が求められている
- ・ 区民が「こうしたい」と思ったときに、柔軟に伝えていく「運営者」が必要
- ・ 建物のづくり・使い方なども、型にはめない柔軟性が必要
- ・ 利用する人たちと、それを受けとめる側の建物や運営者とのやり取りが「らしさ」になっていく
- ・ 区内の社会資源をつなぐことに積極的にかかわり続けていく
- ・ ソーシャルインクルージョン (社会包摂) = あらゆる人が来ることのできる場所にする

3 施設構成(約 3,000 m²)

【ポイント】

- 区民文化センターの施設規模は、おおよそ 3,000 m²
- 区民の皆様の多様で、多彩な活動を行うためには、柔軟性のある施設の活用をしていく必要がある
- あらゆる人が利用しやすいよう、バリアフリー仕様とする

【基本構想検討委員会が出された主な意見】

- ・ ちょっとした工夫で、その部屋でできる活動の幅が格段に広がる
- ・ ホールとリハーサル室は一体的に運営するにしても、その他を「市民活動スペース」として捉え、より多様な使い方ができるように必要な工夫を考えてみてはどうか
- ・ 搬出入口には駐車スペースを確保。ホール、ギャラリー等への搬出入経路は極力短く、シンプルにする
- ・ 文化施設にとって「劇場に来たぞ」というワクワク感を高揚させるエントランス、動線は重要
- ・ 区民文化センターは1階(低層階)に配置。みなきたウォークからふらっと立ち寄れる、自然に文化施設に入り込めるような動線に
- ・ エントランス近くに打合せができ、図書や雑誌などがあるフリースペースがあると良い
- ・ カフェなどが1階にあれば、人は自然と入ってくる
- ・ 部屋の配置の工夫次第で、窓を開放して屋外と一体的に利用するという考え方もある

4 施設運営(運営体制)

【ポイント】

- 区民の皆様の多様で、多彩な活動に対応できる運営・管理体制

【基本構想検討委員会が出された主な意見】

- ・ 指定管理者には地域と連携し、地域の中に溶け込む形で運営してもらうことが必要
- ・ 区内の社会資源、既にある施設なども含めて補完するという視点が必要
- ・ 区民、区内の社会資源、既にある施設などをつなぐことに積極的に関わる中で、情報収集も進み、情報発信につながっていく。また、区民が主体的に活動できる環境づくりにもつながっていく
- ・ 指定管理者の個性を発揮できる余地を残しておくことは必要
- ・ 地元の人たちや団体と指定管理者とがつながれる・連携できる仕組みを、建物の中に組み込んでつくってしまうことが重要。市民感覚を生かした企画など、区民主体の展開を期待できる

5 その他

都筑区 区民文化センターニュース 第2号

発行：平成 29 年 9 月 4 日

センター北駅前の中川中央一丁目9番1、2に、区の文化活動拠点としての「区民文化センター」を整備する予定です。現在「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会」を開催し、区民文化センターに求められる機能や施設構成、施設運営の方向性などの検討を行っています。

〔7月3日に、第1回委員会を開催しました〕

最初に事務局から、区民文化センターの概要や整備予定地、都筑区の地勢・特徴、近隣の文化施設の状況などを説明し、その後、各委員による自己紹介、意見交換を行いました。

～委員の皆様から寄せられた主な意見～

- 活動（ソフト）があって空間（ハード）が必要になる
 - ・区民のアイデアや意見を確認しながら、ここで何をするのか、そのために何が 필요한のかを検討する
 - ・文化を手渡すのではなく、文化の作り手、発信者を生み出していく
- 20年先を見据えて、未来に向けて考える
 - ・あえて超高齢化社会の20年後の都筑で、区民が何をしているか、何をしたいかを想像して検討する
 - ・これまでにとらわれず、新しい発想で考える
 - ・文化施設としてはどうあるべきか、公立施設としてはどうあるべきか、そこをきちんと整理する必要がある
- 求められる空間・機能
 - ・練習や発表の場／居心地のいい場所／人と人、人と施設、人と情報など様々なつながりが生まれる場所／文化の創り手、発信者、文化のキーパーソンを発掘し生み出す／生きた（使える）文化情報の集約と発信
- 施設は「ひと」がつくる
 - ・スタッフは、区民の活動をサポートする中で、どう事業を展開していくかという視点を持つことが重要
 - ・社会的問題を解決するために文化の力を活用する
 - ・区民や利用者に携わってもらい、力を発揮してもらえる機会やしくみをつくる

〔8月7日に、委員向けの区民文化センター見学会を行いました〕

委員の皆様にご覧いただくため、区民文化センター2館の見学会を実施しました。

- 磯子区民文化センター 杉田劇場
平成17年2月に開館。運営面で地域・区民の皆様との連携・協働に積極的に取り組んでいます。
- 緑区民文化センター みどりアートパーク
平成25年10月に開館。市内10館の中で最も新しく、標準的な施設の仕様を備えています。



メンバーは子ども～団塊世代以上と幅広く、全国各地へ演奏に行っている「杉劇リコーダーズ」の皆様の練習風景を見学



みどりアートパークのホール(左)、ギャラリー(右)の見学。バックヤードや動線の重要性等もご説明いただきました



〔8月29日に、第2回委員会を開催しました〕

議論の内容については、次号のニュースでお知らせします。

〔委員会開催スケジュール〕 全4回の開催を予定しています。

第1回【済】

7月3日（月）
15時～17時30分
内容：基礎情報の共有、都
筑の区民文化センターに必
要な機能について意見交換

第2回【済】

8月29日（火）
15時～17時30分
内容：都筑の区民文化センタ
ーのコンセプト・運営方法・
施設構成について議論 等

第3回

10月2日（月）
15時～17時30分
内容：事業・施設運営等の
方向性の確認、答申（案）
の議論 等

第4回

11月28日（火）
15時～17時30分
内容：これまでの議論を踏ま
えた答申・答申概要版の議論
及び確定 等

※答申は確定後、市に提出されます。 ※委員会は先着で傍聴できます（10名まで）。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

区民の皆様からのアイデア・ご意見を随時募集しています！

今後も、委員会の様子をこのニュースでお伝えしていきます。区民文化センターについてアイデア・ご意見等がありましたら、下記まで文書（FAX・Eメール・郵便）でお寄せください。お寄せいただいたご意見等への回答は行いませんが、委員会の進行にあたり参考とさせていただきます。

レポート

〔8月6日に「区民文化センターについて考えるアイデアミーティング」を開催しました〕

53名の区民の皆様にご参加いただきました。6つのグループに分かれて意見交換後、グループごとに発表し、参加者全員でアイデアを共有しました。施設構成から運営面まで、さまざまなアイデアをお出しいただきました。当日お出しいただいたアイデア・ご意見等は、第2回委員会へ情報提供しました。



～アイデアミーティングで、区民の皆様からお出しいただいたアイデア（抜粋）～

- ・区民が主体的に参画でき、年代を超えて交流・活動ができる、人と人がつながっていくまちになってほしい
- ・老若男女が常に集まっているような、催し物がないときには人が来ないというのではなくて、何もやっていないときも人が集まってくるような場所に／広場やオープンスペースを上手く配置するなど交流を生む工夫が必要
- ・バラエティに富んだイベントができ、多様な文化芸術に触れることができる施設構成・事業展開の工夫が必要
- ・使い勝手の良い小規模で高機能なホールを／合唱コンクールなど、学校単位で使える規模の大きなホールを
- ・ギャラリーは間仕切りで多目的に区切ることも、一つの大きな空間として使うこともできるようにしてほしい
- ・区民の視点に立った、できる限り自由を尊重する運営側の体制が望ましい

※アイデアミーティングの詳しい内容をまとめたものを、下記ホームページに掲載しています。

専有面積	約 2,800 m ² ～3,000 m ²
ホール	・コンサートや演劇上演に適した音響・照明等の仕様 (着脱可能な音響反射板等、300 席程度)
音楽ルーム (リハーサル室)	・小編成の音楽、ダンス等の練習、発表が可能な仕様 (防音壁等、100 m ² 程度)
練習室	・小人数の音楽練習に適した防音仕様 (3 室、25 m ² /室程度)
ギャラリー	・100 点程度の美術作品の展示が可能なスペース (可動壁、展示用照明等、160 m ² 程度)
会議室	・創作ワークショップ、アート講座等のためのスペース (2 室、28 m ² /室程度)
情報コーナー	・パンフレット等情報提供のスペース
ソフト事業	・自主事業、アウトリーチ等地域文化芸術活動支援、相談、 育成機能

区民文化センターの標準的な機能

ホール

コンサートや演劇の上演など

多機能ホール(緑区・みどりアートパーク)



(磯子区・杉田劇場)



音楽系ホール(栄区・リリス)



演劇系ホール(泉区・テアトルフォンテ)



音楽ルーム(リハーサル室)

小編成の音楽・ダンス等の練習・発表など

音楽ルーム(大スタジオ)(栄区・リリス)



リハーサル室(青葉区・フィリアホール)



音楽ルーム(神奈川区・かなっくホール)



リハーサル室 愛称:コスモス(磯子区・杉田劇場)



練習室:3室程度

少人数の音楽練習など

青葉区・フィリアホール 練習室2(アップライトピアノ)



戸塚区・さくらプラザ 練習室2(ドラムセットほか)



鶴見区・サルビアホール
練習室1(アップライトピアノ)



練習室2(ドラムセットほか)



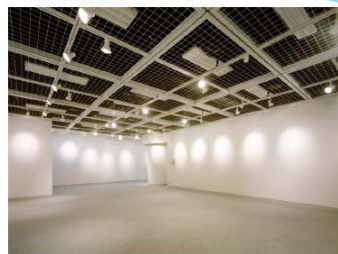
練習室3(ドラムセットほか)



ギャラリー

美術作品の展示など

神奈川区・かなっくホール



鶴見区・サルビアホール



港南区・ひまわりの郷



会議室:2室程度

創作ワークショップ・講座など

磯子区・杉田劇場 会議室A+B



緑区・みどりアートパーク 会議室A+B



情報コーナー

パンフレット・書籍など文化芸術に関する情報提供

磯子区・杉田劇場



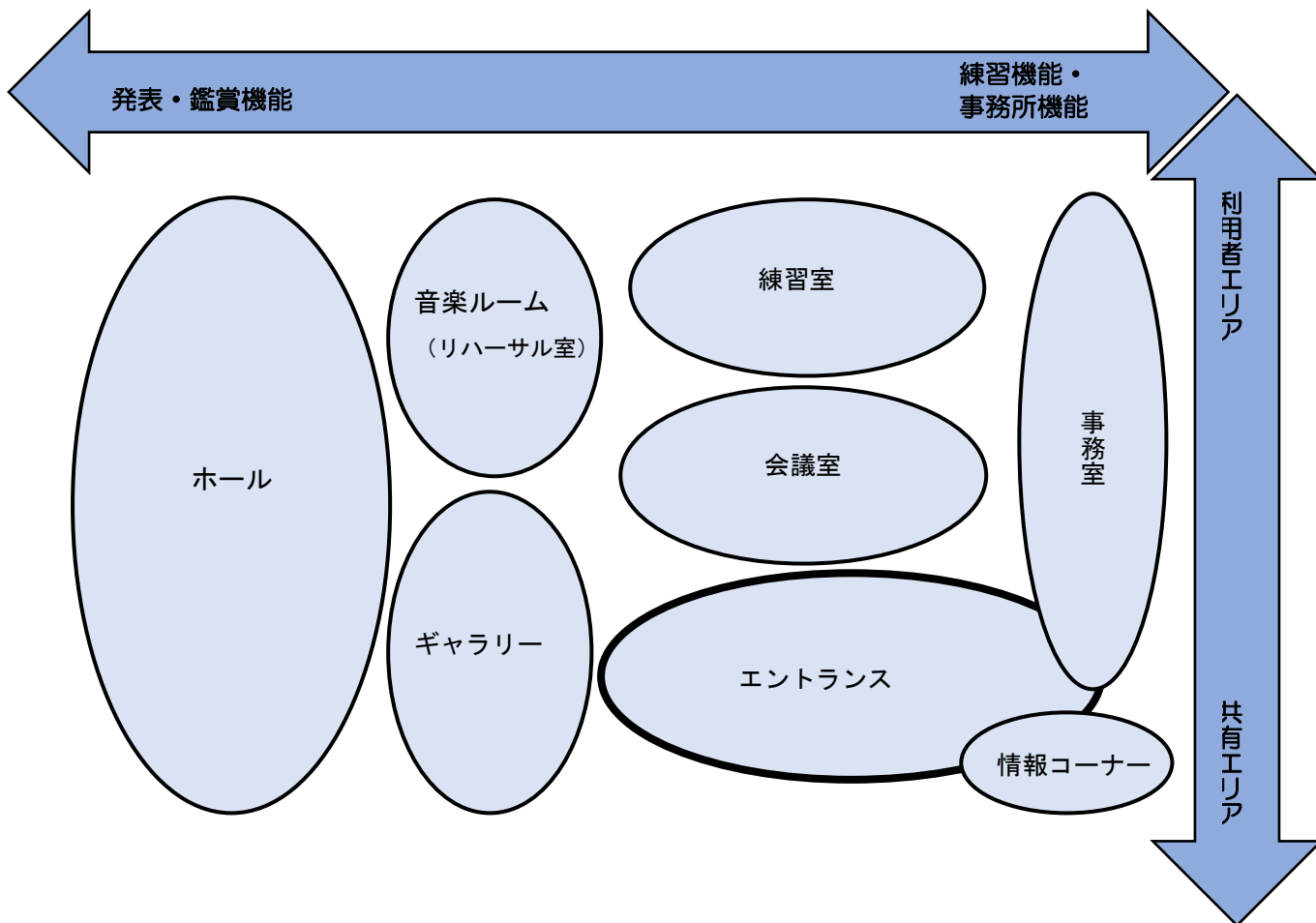
青葉区・フィリアホール



旭区・サンハート



標準的な区民文化センター機能構成 関係模式



上記の機能構成に加え都筑区の区民文化センターに求める機能として、第1回アイデアミーティングや基本構想検討委員会では次の意見がありました。

- ・一体的に整備される民間活用施設との機能連携（カフェ・レストラン等のにぎわい施設等）
- ・みなきたウォーク・歴史博物館等との連携
- ・野外のオープンスペースとの連携整備（例；水と緑のある空間、交流広場、野外ステージ等）
- ・ギャラリーや会議室、エントランス部分などでもアトリエや創作活動ができるような仕様など